

# 第4回 GPICシンポジウム

～電力自由化のカギ：パワーエレクトロニクス飛躍の時代～

－技術で勝ってビジネスにも勝つために－

日時：10月12日（水）14：00～17：00

場所：東京大学山上会館 大会議室

アクセスマップ・キャンパスマップ

<http://www.sanjo.nc.u-tokyo.ac.jp/sanjo/contact/>

主催：GPIC研究会

Green Power Innovative Communication

URL:<http://www.greenpoweric.org/>



GPIC研究会 事務局：

〒160-0017

東京都新宿区左門町16番地1 四谷TNビル5F

株式会社三菱化学テクニサーチ内

連絡先（メールアドレス）：[MCTR-HO-gpic@cc.mctr.co.jp](mailto:MCTR-HO-gpic@cc.mctr.co.jp)

## <趣旨>

GPICシンポジウムは、本年で第4回を迎えることとなりました。GPIC研究会は、会員による紹介を通じて着実に会員が増え、幅広い分野に渡る参加者が集まり議論を重ねてまいりました。GPIC研究会における議論の中心分野は、グリーンパワー産業における技術という自然科学とビジネス戦略という社会分野の融合領域です。この分野は、本研究会発足からわずか数年の時の流れしかない中で、共に大きく変革し、取り巻く環境の変化を正確に把握することが前にも増して重要となってきています。

近時の動向としては、2015年にパリで開催されたCOP21で採択されたパリ協定が一つの契機となっています。同協定では、気温上昇を2℃よりかなり低く抑えることとし、1.5℃未満に抑えるよう努力すること、各国の温室効果ガス（GHG）自主削減目標は5年ごとに見直すこと、発展途上国に、2020年まで年間1000億ドル以上の支援を行うことなどが、合意事項として定められました。パリ協定の締結をわが国も2050年に温室効果ガスの80%削減を目指すことを2016年5月に閣議決定しています。

この目標達成のために、CO<sub>2</sub>排出削減見込み量の中で最大の寄与を見込まれているものは「再生可能エネルギーの最大限の導入」と「電動化自動車の導入」です。再生可能エネルギー分野では、太陽光と風力がその主力となります。また、発電する場所から消費する場所に係る経路の電力変換技術は重要な役割を占めることとなります。電動化自動車においても、電力変換技術が重要な役割を占めています。2030年度においては26%減が「日本の約束」として決定されていますので、グリーンパワー産業のビジネスモデルは、再エネと電動化自動車を中心に推し進められていくこととなります。本日のシンポジウムは、このような視点に立って、以下の4名の方に研究成果の発表および講演をお願いいたします。

## ●シンポジウムプログラム●

14:00 – 14:05 開会の挨拶

14:05 – 14:45 【講演1】

「技術を活かす経営」の実践

株式会社ソシオネクスト 代表取締役会長兼CEO 西口 泰夫  
(GPIC研究会会長)

### <講演概要>

企業の最重要課題は持続的成長を続けることと考える。一般的に、これら企業は市場との対話を通じてビジネスを行うことを主に企業活動としている。一方、市場はニーズのみならずあらゆる面において絶えず変化をしているものである。よって企業はこの変化する市場に適確に対応し続けることによってのみ、持続的成長を可能とする。特に新技術、新商品を開発して、それを市場にて販売することを主とするメーカー企業の経営は、市場の変化に対応する商品を技術開発によって生み出し、販売し続けることにある。この活動こそが企業の持続的成長を図られると考える。即ち「技術を活かす経営」を行うことである。このテーマの実践の一端を述べる。

14:45 – 15:25 【講演2】

IoTの爆発力：エレクトロニクス業界の将来展望

IHS Markit 株式会社 日本調査部ディレクター 南川 明  
(GPIC研究会ビジネス・サービス担当ディレクター)

### <講演概要>

デジタル家電、PC、スマホが牽引してきた電子機器・半導体産業は車載・産業機器に大きく舵を切り始めている。そしてCO<sub>2</sub>削減の課題からIoTを活用したスマート社会へ進み始めている。欧米の最新IoT動向を紹介するとともにIoT社会が求めるエレクトロニクス機器の将来像を描いてみる。IoTが今後普及することが見込まれているが、その普及がどのように進み、世の中にとどのような影響を与えるのか、その影響力について紹介する。

15:25 – 15:35 休憩

15:35-16:15 【講演3】

進展する車両の電動化に向けた、次世代パワーデバイスへの取り組み

トヨタ自動車株式会社 パワーエレクトロニクス開発部 主幹 戸田 敬二

<講演概要>

HV,PHV,FCV,EVなどの普及により、自動車の電動化は進み、2050年にはトヨタの作る車のほぼすべてが電動のパワートレインを持つようになる。そのキーデバイスとして取り組んでいる、次世代パワーデバイスの開発について紹介する。

16:15-16:55 【講演4】

パワエレのソフト・ハードの分離がもたらす革命

東京大学大学院 工学系研究科技術経営戦略学専攻 特任教授 阿部 力也  
(GPIC研究会 副会長)

<講演概要>

コンピュータの歴史が、大型⇒ミドル⇒オフコン⇒PCと変革していった歴史や、携帯電話が自動車電話⇒ガラケー⇒スマホと変革してきた歴史の中に、ハードウェアとソフトウェアの分離がある。インバータでそれが起こるとどのようになるのか直近の開発事例を交えながら報告する。

16:55-17:00 閉会の挨拶

● 懇親会 ●

今年も、シンポジウム終了後に懇親会を開催します。講師やGPIC研究会のメンバーとネットワーキングする機会としてご活用ください。

日時 : 10月12日(水) 17:30~19:30  
場所 : 日比谷松本楼 東大工学部2号館店(東京大学内)  
(安田講堂の左側、TEL:03-5805-5608)  
参加費 : 4,000円(税込)

<参加人員と参加費用>

シンポジウムへの参加は、会員も非会員も無料です。定員100名(先着順)。懇親会への参加は有料です(参加費:4,000円 税込)。懇親会お申し込み後のキャンセルにつきましては、2016年10月2日以降は、キャンセル料(100%)を頂くこととなりますこと、ご了承お願い申し上げます。代理のご出席をお願い申し上げます。

<申し込み方法>

お申し込みは、下記URLよりお申し込み下さい。

<https://www.semiconductorportal.com/GPIC/>

お申し込み後に参加証が表示されます。請求書は左上の「ご請求書はこちらです」をクリックしてください。お支払いはすべて銀行振り込みとなっております。当日、現金でお支払いの方は確認メールに返信にてご連絡ください。

<問い合わせ先>

第4回GPICシンポジウム事務局  
株式会社セミコンダクタポータル  
〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5  
メソニック39MTビル4F  
TEL:03-5733-4971 FAX:03-5733-4973  
e-mail: gpic\_2016@semiconportal.com